

## 第2章 事例研究

### 1. 3歳児事例

西多由貴江

事例3-1 電車ごっこ

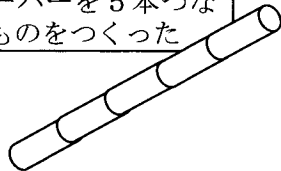
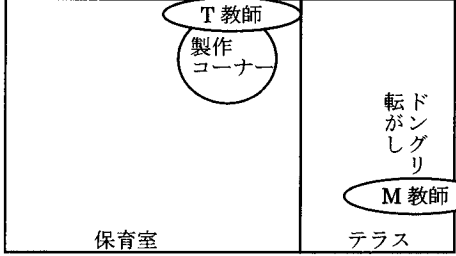
6月5日(水)

幼児の姿	学びの分類・考察
<p>①K児が平均台にまたがり電車の運転手になって遊び始めていた。そこで、教師は新聞紙のハンドルをつくり、K児に手渡すと、ハンドルをもって運転し始めた。②新聞紙のハンドルに興味をもった幼児、教師のしていることに興味をもった幼児が集まり、電車ごっこが始まった。</p> <p>③教師が「この電車はどこまで行くんですか」と声をかけると、「東京」「アメリカ」「ディズニールランド」など、幼児らは思い思いに答えた。それを聞いて④K児はハンドルを動かし「ブーン」と、言いながら運転するまねをした。そして、「もうすぐ着きますよ」「着きました」と言った。④その声で、電車に乗っていた幼児らが降りていく。再び数人の幼児が電車に乗り、そして降りて行った。このような乗り降りを繰り返していた。</p> <p>教師が「今度は、動物園までお願いします」と声をかけた。それを聞いて、H児、B児、N児が平均台にまたがった。⑤教師はK児の体の動きに合わせてB児、H児らの体を左右に動かしした。B児、H児は笑いながら「わあー」と、喜んだ。その動きに合わせて、N児も体を左右に動かし笑った。教師「まだ、着かないみたいですね」とK児に聞こえるように言った。K児は「まだまだ着きません」と言って、先ほどよりもさらに体を左右に動かし運転し始めた。教師はその様子を見て「揺れるみたいですよ。落ちないくださいね」と、B児、H児、N児の体をK児に合わせて左右に動かしした。⑤B児、H児、N児は笑顔で、「キヤー」と叫んだ。教師が「もう着きましたか」と声をかけると、⑥K児は「まだまだ着きません」と言って、運転を続けた。</p>	<p>①興味をもったものにかかわり、自分なりの遊び方を見つけて楽しむ (心的) K児は、テラスに提示しておいた平均台を乗り物に見立て、運転することを楽しみ始めた。平均台に興味をもち、自分なりの遊び方を見つけた。 さらに、ハンドルがあったことで、より運転手になりきり、楽しんでいる。</p> <p>②身近な環境や教師に興味をもち、かかわる (社会的) 教師(人)、新聞紙のハンドル(もの)、K児が見立てた乗り物(場)に、興味をもった幼児らが自分からかかわっている。</p> <p>③電車ごっこの場の雰囲気を楽しむ(心的) 幼児らは、教師の言葉に反応し、それぞれが思い思いに言葉を発している。一人一人の幼児が電車ごっこの場に加わり、その場の雰囲気を楽しんでいる。</p> <p>④場の状況に合わせて乗り降りすることを楽しむ (社会的) 電車ごっこの場であることを知り、運転手役のK児の声に合わせて乗り降りすることを楽しんでいる。</p> <p>⑤教師や友達と同じ動きをしたり、声を出したりすることを楽しむ (社会的) 教師や友達と一緒に、または、教師のまねをして、体を動かしたり、声を出したり、笑ったりしている。教師や友達と同じ場に集い、楽しむ姿が見られた。</p> <p>⑥教師や友達が自分の遊びに加わり、遊んでくれる嬉しさを感じる (心的) K児は教師の「もう着きましたか」の言葉に「まだ着きません」と答えている。K児は教師とのかかわりを喜び、教師や友達が自分の動きや言葉に合わせて遊んでくれる嬉しさを感じている。</p>

幼児の姿	学びの分類・考察
<p>N児が、①家からオレンジ色の小さな丸い実を持って登園した。N児はそれを使って②砂場でケーキをつくりたいとT教師に伝えた。登園時の活動を終えたN児が砂場にやって来た。そして、カップの中の水にそのたくさんの実を浮かべ②M教師に見せた。③N児は「秋の実ジュースだよ」と教師に伝えた。M教師は「うわあ～！きれいな色の実がたくさん入っていておいしそうだね」と応えた。N児は、④にこっと笑うと、バケツやカップを持ち、砂場の空いている場所を探し、その場に座った。そして、大きなバケツにオレンジ色の実を入れ、その他のカップに砂を入れ並べていた。M教師「先生もケーキつくっていい？」と声をかけると、N児は「いいよ」と応えた。M教師は何も入っていないカップに砂を入れ、ひっくり返すというやり方でケーキを何個かつくった。それを見た⑤N児もカップに砂を入れ、型ぬきをしてケーキをつくり始める。M教師は砂でできたケーキを、よりケーキらしくしたいと考え、N児の傍らにずっと置いてあったオレンジ色の実を、ケーキの上に置いた。すると⑥⑦N児の表情はパツと明るくなり、教師のまねをして、教師と一緒に教師がつくったケーキの上にオレンジ色の実を並べ始めた。N児は「かわいいね」とM教師に声をかけた。M教師も「うん、かわいいね」と声をかけた。N児は自分でつくった隣のケーキにもオレンジ色の実を並べた。</p>	<p>①自分なりに思いをもって遊ぼうとする (心的) N児はオレンジ色の実を見つけ、大切に園にもってきた。そのオレンジ色の実を使って遊びたいという思いをもった。</p> <p>②教師と安心してかかわる (社会的) T教師に自分の思いを伝える姿、M教師に自分のつくったものを見せる姿から、教師との安定した関係を築いていることがわかる。</p> <p>③教師に自分でつくることができた嬉しさを言葉で表現する (社会的, 知的) 登園時から自分の思いをわかっているM教師に、自分のつくったものを自分なりに意味づけし、「秋の実ジュースだよ」教師に言葉で伝えている。</p> <p>④教師に認めてもらえた満足感を感じる (心的) 自分のつくったものを教師に認めてもらえた嬉しさを表現している。</p> <p>⑤教師のまねをして型ぬきをする(身体的) カップに砂を入れるだけでなく、型抜きしたケーキをつくり始めた。つくり方を知るだけでなく、教師のまねをして、実際つくっている。</p> <p>⑥教師のしていることをまねて一緒につくる (社会的) N児は、教師がしていることをまねて、教師がつくったケーキに教師と一緒にオレンジ色の実を飾った。</p> <p>⑦教師のしていたことをまねて自分でつくる (知的) N児は、教師がつくったケーキを見て、砂のケーキにオレンジ色の実を飾るとかわいくなることを知った。そこで、教師の行為をまねて自分でつくった。</p> <p>⑧自分の見つけたオレンジ色の実を使って遊ぶことができた満足感を得る (心的) オレンジ色の実をカップに集める姿から、自分で見つけたオレンジ色の実を大切にしていることがわかる。かわいいケーキをつくって、遊ぶことができた満足感を感じている。</p>
<p>次にM教師は黄色の落ち葉をケーキに飾ろうと持ってきた。N児は落ち葉も飾りに使い始めた。そしていくつものケーキをつくった。</p> <p>かたづけの時間になると、⑧N児はケーキからオレンジ色の実だけを集め、それを小さなカップに入れ大事そうに保育室に持ち帰った。</p>	

幼児の姿	学びの分類・考察
<p>①②H児、Y児はテラスにジュニアブロックを組み合わせてお城をつくり、③スカート、チュール、冠を身に付け、遊んでいる。②④Y児はお城の中に座り、ご飯を並べながら、友達の様子を見て、ニコニコしながら、周りの様子を見ている。</p> <p>Y児が「先生、入っていいですよ」と声をかけてきた。教師はY児の言葉には仲間になってほしいという思いがあると思ったので、Y児の横に座り、一緒にご飯を食べた。そこにE児が入ってきたので、教師は「おかえりなさい」と声をかけた。E児は「ただいま」と言って、教師の横に座った。しばらくして、</p> <p>⑤E児 「学校に行ってくるわ」 教師 「いってらっしゃい」 Y児 「いってらっしゃい」 E児 「いってきます」</p> <p>Y児は、教師の顔を見て笑った。⑥その後もY児はお城を出入りする教師や友達に「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と声をかけた。E児だけではなく、H児やY児らの声に「ただいま」「いってきます」とこたえた。</p> <p>Y児は友達の様子をニコニコと見ながら、その場の雰囲気を楽しみ、お城の中で過ごしていた。</p>	<p>①ジュニアブロックをお城に見えるように組み合わせる (知力) H児は、自分のイメージするお城らしい形になるようにジュニアブロックを組み合わせ、お城をつくった。</p> <p>②友達と同じ場に集う心地よさを感じる (心的) Y児はこれまで一人で友達の様子を見て楽しんでしたが、この日は友達と同じ場に集い過ごしている。自分のしてみたいことをして過ごせる居心地のよさを感じている。</p> <p>③友達と同じものを身につけ、同じ場に集うことを楽しむ (社会的) スカート、チュール、冠を身につけたことで、一緒に遊ぶ友達となり、同じ場に集って楽しむことができた。</p> <p>④自分の好きなことをして楽しむ (社会的) ご飯を並べたり、友達や教師が食べる様子を見たりしながら、ご飯をつくる人になりきって楽しんでいる。</p> <p>⑤自分の生活経験を遊びに活かす (知的) E児は、小学生の兄がいる。そのため、お兄ちゃんお姉ちゃんは学校に行くということを身近で見てきた。その経験を遊びに活かしている。</p> <p>⑥教師のまねをして友達に声をかける (社会的) Y児も教師のまねをして「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と友達に声をかけている。友達が応えてくれたことを喜び繰り返している。</p>
	

幼児の姿	学びの分類・考察
<p>M児, K児, I児, A児らが, 砂場で山や川をつくって楽しんでいた。<u>①A児が水の溜まった所を歩いている時, 「ここ深いよ」と水が溜まった所に足をを入れて言った。教師も足をを入れてみた。</u></p> <p>教師 「本当だ。足がこんなに隠れた」</p> <p><u>②K児 「俺も入りたい」</u></p> <p><u>M児 「僕もやりたい」</u></p> <p><u>①K児 「ほんとや深い」</u></p> <p><u>M児 「うわ～」</u></p> <p>教師が足をひねり, 砂に足を埋めながら「足がどんどん埋まっていく」と言った。</p> <p><u>③K児 「俺も埋めて」</u></p> <p>教師 「足をグニグニ動かすと埋まってくよ」</p> <p>K児は教師をまねている。その様子を見ていた</p> <p><u>②③M児もまねて足を埋めた。④M児は「わ～、うまった。なんか、田んぼみたい」そして「田んぼ」と頭の上で手を合わせて立って見せた。教師が「田んぼの稲になった～」と叫ぶと, ②K児, A児, I児もまねて立った。</u></p> <p><u>④M児「(次は) 木になる」と手を広げて立った。②K児, I児, A児も「木」と言って砂場の思い思いの場所で足を埋めて立った。</u></p> <p><u>⑤M児が「(次は) ドングリ (の木)」と言って手でドングリの形をつくった。</u></p> <p><u>A児 「カキ」</u></p> <p><u>K児 「クリ」</u></p> <p><u>I児 「葉っぱもったらいよ」</u></p> <p><u>幼児らは思い思いの木を表現して楽しんだ。</u></p>	<p>①水溜まりには深い所と浅い所があることを知る (知的) 砂場にできた水溜まりに実際に足を入れることで, 浅い部分と深い部分があることがわかった。</p> <p>②教師や友達のしていることに興味をもちやってみる (社会的) 教師や友達が楽しんでいることに気がつき, してみたいと思いまねている。また, 友達の言葉や行動に反応しながら楽しんでいる。</p> <p>③足を動かすと足がうまっていくことを知り, してみる (知的)(身体的) これまでは, 自分の足の上に砂をかけていくことで足を埋めていたが, ここでは自分の足を動かすことで足がうまっていくことを知り, 実際にやっていた。</p>
	 <p>④自分の感じたことを表現する (知的) 先週, 縦割り活動で里山の田んぼを製作し, 表現したグループがあった。そこから『田んぼの中の稲』の様子を思い出したのではないかと考える。自分の経験してきたことを遊びの中で表現している。</p> <p>⑤自分なりにイメージを膨らませて表現する (知的) 友達の表現を見て, 自分なりにイメージを膨らませて, 表現している。また, 友達と同じにならないように考えている。</p>

幼児の姿	学びの分類・考察
<p>S児, N児, T児らは, テラスでM教師と一緒に板積み木を斜めに置き, その板積み木に箱やカップを貼り付け, ドングリを転がして楽しんでいた。しばらくして, S児が製作コーナーにやってきて, ①トイレットペーパーの芯をつなぎ始めた。しかし, セロハンテープでつなげていたため, 芯の長さが長くなるにつれ, その重さではがれていった。</p> <p>S児 「できない, できないー」                      T教師 「どうしたの」                      S児 「とれちゃうよ」                      ②T教師 「本当だ。テープじゃ弱いみたい。もっと強いのないかな？」                      K児 「ガムテープは？」</p> <p>S児は小さく頷き, 目の前にあったガムテープを手にとり, T教師と共にガムテープを切り, テープの上に貼っていった。</p> <p>③④S児は, ガムテープを貼り終わると「これ(ガムテープだと思ったようにつなげることができたこと) いいみたい」といった。T教師が机にあったドングリをS児に渡した。すると, S児は芯を斜めにし, 芯の中にドングリを転がした。出口からドングリが出てくると「出たー。早い」と笑顔になった。⑤S児は「あと一個付けたら持っていく」と言い, もうひとつ芯をガムテープでつないだ。出来上がると「行ってくるね」と言ってテラスのドングリコースの所に持っていった。</p> <div data-bbox="274 1704 648 1928" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>ガムテープでトイレットペーパーを5本つなげたものをつくった</p>  </div>	<p style="text-align: center;">&lt;環境図&gt;</p> <div data-bbox="843 405 1301 660" style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 20px;">  </div> <p>①セロハンテープではうまくつけられないことを知る (知的)                      S児は, トイレットペーパーの芯を組み合わせる時, 使いやすいセロハンテープを選び, つなげようとした。しかし, 思うようにつなげることができないことがわかった。</p> <p>②自分の経験から提案する (知的) (社会的)                      K児はこれまでの自分の経験からセロハンテープより粘着力が強いものとしてガムテープがあることを知っていた。また, 教師の言葉を聞き, ガムテープを提案した。</p> <p>③できあがった満足感を得る (心的)                      ガムテープを使うことで, 手で持っても壊れない思い通りのものをつくることができ, 満足感を感じている。</p> <p>④ガムテープの良さを知る (知的)                      S児はガムテープなら思ったようにトイレットペーパーの芯を組み合わせることがわかった。</p> <p>⑤遊びに必要なものを自分なりに思いをもつてつくる (知的)                      S児はどングリ転がしの遊びをより面白くするためにトイレットペーパーの芯を使うことを考え, 自分なりに思いをもってつくりあげた。</p>

幼児の姿	学びの分類・考察
<p>N児, M児, R児らが自分達のつくったコースにドングリを繰り返し転がしていた。それぞれが思い思いにドングリを転がしているため、同時にいくつものドングリが同じ板の上を転がり、どれが誰の転がしたドングリかわからなくなっていた。</p> <p>①M児がドングリを転がそうとした時、M教師は一人一人の転がす様子を楽しんでほしいと思い「M児くんのドングリいきまーす」と言った。それを聞いて、②R児はドングリを転がそうとしている手を止め、M児の転がしたドングリを目で追った。M児も期待に膨らんだような表情でドングリを見つめている。ドングリがコロコロとトンネルをくぐり抜け、板の上を転がっている。③その途中、N児はM児が転がしたドングリをサッと手に取った。</p> <p>M児 「それ僕のだよ！」</p> <p>N児はハッとした表情で、すぐにドングリを元の場所に戻した。再びドングリは転がり、板の一番下まで転がっていった。</p> <p>④M児 「やった～！一等賞！」</p> <p>N児 「すごい！一等賞だ！」</p> <p>M教師 「お～！一等賞までいったね」</p> <p>M児と N児は嬉しそうにドングリが板の下まで転がったことを喜んだ。</p> <p>R児 「じゃあ、次R児ちゃん。⑤R児ちゃんのいきま～す」</p> <p>そう言って、ドングリを転がした。R児のドングリは8等賞のカップに入った。</p> <p>④N児 「8等賞だ～！」</p> <p>R児 「R児ちゃん8等賞～！」</p> <p>⑥その後、N児, M児, R児らは、順番にドングリを転がしていった。そして、点数の書かれた場所にドングリが転がることを喜んでいた。</p>	<div data-bbox="890 376 1336 705" data-label="Image"> </div> <p>①教師の言葉を聞き、友達のだングリに興味をもつ (社会的)</p> <p>R児は、教師の言葉を聞きM児のだングリがどのように転がるか興味をもち、目で追っている。</p> <p>②どのように転がるか興味をもつ (知的)</p> <p>R児, M児は、ドングリがどのように転がり、どこまで転がるのか、ドングリの転がる様子を目で追い続けている。</p> <p>③状況を判断する (社会的)</p> <p>N児は、自分の掴んだドングリが、M児が転がしたものだとなり、すぐさま元の場所に戻した。友達がやりたいことを尊重している。</p> <p>④教師や友達とつくった場で一緒に遊ぶことを楽しむ (社会的)</p> <p>N児は板の上に箱やカップなどを張り付けるなどして、ドングリ転がしの場を毎日のようにつくってきた。その場に友達がかかわり遊んでくれることを喜んでいて、M児, R児らはその場の遊び方を受け入れて遊び、一緒に楽しんでいる。</p> <p>⑤教師のまねをして言葉を発する (知的)</p> <p>R児はドングリを転がしたいと思った。転がす時にはどうしたらいいかを考えた時、教師の言葉を思い出し、まねをして「いきま～す」と言葉を発した。</p> <p>⑥順番のよさを知る (知的)</p> <p>幼児は、順番にするとドングリがどのように転がるかわかりやすいことがわかった。</p>